

## ～国際化が進む教育現場～ 「言葉の壁をなくそうプロジェクト」

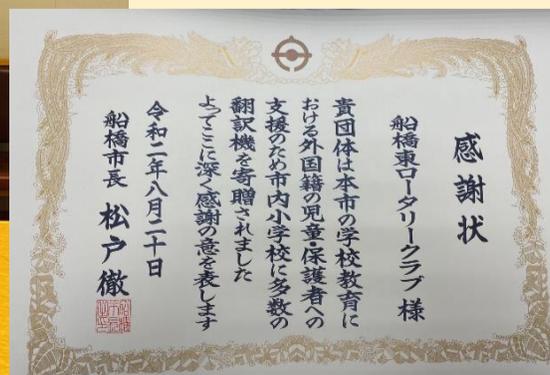
2020年8月20日、船橋東ロータリークラブでは市内小中学校に向けてAI翻訳機18台を船橋市に寄贈致しました。船橋市には約1万8000名の外国籍の方が在住しており、日本語指導を必要とする児童生徒は市内小中学校に約200名在籍しています。このプロジェクトでは、船橋市内小中学校へAI翻訳機を寄贈し、教育現場で活用し先生と外国人児童生徒やその保護者のコミュニケーションを図り、また児童生徒間の対話の向上を望むものです。更に、当クラブ会員の職業を生かした教育現場での相談やアドバイスを、先生や該当の外国人保護者を対象に無料相談を行います。

AI翻訳機の活用方法は、日本語が十分に理解できない児童生徒に対して、日本語指導員等がない場合、個別指導をする際に使用できます。このAI翻訳機には、多言語に対応している事と画像を翻訳する機能があるので、教科書やドリルなどを撮影し瞬時に翻訳が可能です。今まで、言葉の壁で授業について行けなかった児童生徒にも学習の喜びを体感して頂く事が可能になります。また、休み時間等に教師や児童生徒が、日本語を十分に理解できない児童生徒とコミュニケーションを図る際に活用できます。

それから、事務室では日本語が十分に理解できない保護者に対して、転入や編入時の事務連絡、提出文書などの説明及び面談に使用できます。日常生活においても、当クラブ会員の職業を生かした教育現場での相談やアドバイスを、先生や該当の外国人児童生徒及び保護者を対象に、行政では取り組みにくい相談等を学校と教育委員会を通じて要望を受け、日本での生活における困りごとに無料で電話及び出張相談に応じて行く予定です。

8月20日 14:00から船橋市役所にて贈呈式を行いました。松戸 徹市長をはじめ、松本文化教育長、磯野 護学校教育部長にご同席頂き懇談しました。学校教育の向上に支援したことに感謝のお言葉を頂きました。当クラブをはじめ、地域の皆さまと協力し合い、船橋市在住の外国籍の皆さまに住みよいまちづくりと船橋市の良さを更に発信して行きたいとお話頂きました。この贈呈式にはテレビの取材もあり、夜のニュースで今回のプロジェクトを取り上げて頂きました。私たちロータリークラブの奉仕活動を、一般の方々も広くお伝え出来た事を嬉しく思います。

本プロジェクトのAI翻訳機活用により、すべての児童生徒の学校生活が楽しく過ごす事を期待致します。この場をお借りして会員の皆様とこの事業に携わって頂きました皆様に感謝申し上げます。



船橋市 松戸徹市長を囲んで

チバテレビのニュースで今回のプロジェクトを取り上げて頂きました。

